



# 議会だより

Vol. 44  
2026年3月



申本柔道クラブの皆さん

【発行】和歌山県申本町議会 〒649-3592 和歌山県東牟婁郡申本町サソコ台690番地5  
【編集】議会広報広聴特別委員会 申本町役場 TEL.0735-67-7261

9月議会定例会報告	..... P2～P3
12月議会定例会報告	..... P4～P5
常任委員会の報告	..... P6～P7
一般質問	..... P8～P19
研修会の報告	..... P20～P21
議会報告会・決算審査特別委員会	..... P22
インタビュー記事	..... P23～P24



第3回定例会  
(9月)

第3回定例会 (9/2~9/26)	
報 告	2件
条 例	9件
補正予算	7件
決 算 (委員会付託)	15件
契 約	1件
請 願	1件
発 議	1件

※追加議案を含む

# 9月議会は一般会計補正予算 2億2,494万2千円を可決

歳入歳出予算総額132億7,606万9千円

## 主 な 歳 入

■ 地方交付税	普通交付税	13,671万円
■ 町債	公共施設等適正管理推進事業債	4,490万円
■ 国庫支出金	物価高騰対応重点支援給付金支給事業費 補助金(定額減税不足額給付分)	3,612万円
	木造住宅耐震補強設計改修費補助金	288万円
■ 県支出金	木造住宅耐震補強設計改修費補助金	186万円
■ 財産収入	土地売払収入	3,050万円

## 主 な 歳 出

■ 総務費	住宅耐震化促進事業	750万円
■ 民生費	物価高騰対応重点支援給付金支給事業 (定額減税不足額給付)	3,612万円
■ 農林水産業費	漁港管理経費	131万円
■ 教育費	学校給食材料費	868万円

## 串本町消防本部及び消防署の設置等に関する 条例の一部改正を可決



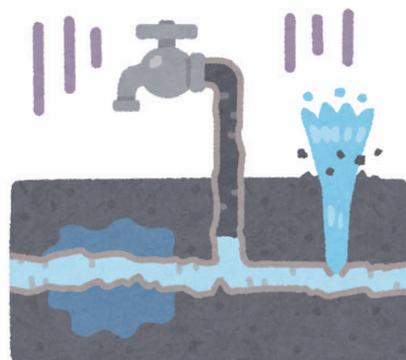
古座消防署新庁舎が竣工し、移転することに伴い、消防署の位置を定めている規定の一部が改正されました。

新庁舎は、現在の海岸近くから、上野山防災広場のとなりに移転となりました。

## 水道事業特別会計補正予算 潮岬漏水調査業務 229万9千円を可決

有収率向上対策として、潮岬地区と出雲地区の漏水調査を行うための予算を可決しました。

有収率とは、浄水場や配水場から町内に送り出す給水量に対して、料金などの収入として計上される有収水量の割合で、数値が高いほど、効率よく水を届けることができていていることを示しています。



## 証明書発行手数料等のキャッシュレス決済導入



住民課及び税務課の各種証明書発行手数料等について、キャッシュレス決済を導入する予算が可決されました。

これにより、窓口での各種証明書発行手数料等の支払いは、現金以外に、クレジットカードやQRコード（PayPayやd払いなど）、電子マネー（交通系IC：ICOCAなど）の利用が可能となりました。



## 第4回定例会 (12月)

# 12月議会は一般会計補正予算 1億7,620万6千円を可決

歳入歳出予算総額134億5,227万5千円

第4回定例会 (12/9~12/19)	
人 事	1件
条 例	8件
補正予算	10件
契 約	2件
請 願	1件
決算の認定 (継続審査分)	15件
そ の 他	1件

※追加議案を含む

### 主 な 歳 入

■ 町 債	林道八郎山線災害復旧事業 …………… 1,310万円 林地崩壊防止事業 …………… 1,280万円
■ 国庫支出金	林道八郎山線災害復旧費負担金 …………… 1,458万円 社会保障・税番号制度システム整備費補助金 …… 294万円
■ 寄 附 金	まち・ひと・しごと創生推進事業寄附金 …… 1,000万円

### 主 な 歳 出

■ 総 務 費	エルトゥールル号135周年追悼式典事業 …… △201万円
■ 農林水産業費	阿野木漁港法面対策工事 …………… 1,130万円
■ 教 育 費	町立体育館管理経費 …………… 168万円
■ 災害復旧費	林道八郎山線災害復旧事業 …………… 2,916万円

## 令和6年度の全ての決算を認定

令和6年度の全ての会計における決算は、10月に行われた決算審査特別委員会において審議されました。定例会で委員長から報告が行われ、決算は委員長報告のとおり全会一致で認定されました。

決算審査特別委員会の詳しい内容については、22ページをご覧ください。



## ■ 諸報告の主なもの

### 安全・安心なまちづくり

新古座消防署庁舎建設工事は、12月26日に完成し、令和8年1月30日には竣工式、2月8日には一般の方を対象とした内覧会を開催、2月12日から運用開始となります。



### 友情の礎

エルトゥールル号135周年追悼式典を9月16日、町内外から約150名の方にご参列いただく中、檜野崎慰霊碑前で追悼式典を厳粛に執り行いました。

### 橋杭岩のライトアップ

10月31日～11月2日までの3日間開催しました。道の駅の壁面にプロジェクションマッピングで弘法大師伝説やクジラ、イルカなどが映し出されました。



### 冬の星空撮影会



12月6日に潮岬望楼の芝において、星座観察と撮影の「本州最南端串本冬の星空撮影会」を開催いたしました。串本は星空を見るのに最適な場所であることから、町外の方にも対象を広げて取り組んでまいります。

### 初めてのドローンショー

12月7日に串本町で初めての「ドローンショー」総合運動公園多目的グラウンドで開催しました。当町と「災害時におけるドローンの運用に関する協定」を締結している株式会社アドホック様のご協力により実施いたしました。



## 総務産業建設常任委員会 行政視察

令和7年11月19日から11月21日までの3日間で  
県外行政視察を行いました。

### ■視察地・調査事項



1. 愛知県豊田市  
・人工衛星とAIによる水道管の健康診断について
2. 岐阜県各務原市  
・KAKAMIGAHARA PARK BRIDGEの整備について
3. 愛知県東海市  
・空き家対策について
4. 三重県多気郡多気町（VISON（ヴィソン））  
・VISON開発による地方創生について

当委員会では、町政における課題について県外先進地の当該施設を視察させていただき、今後当委員会で更に調査研究を行った上でメリット・デメリットを含めて執行部に提言していきます。この視察で当委員会委員の知見を広げることができましたが、結論としてこの視察で得た事を、必ず町政に活かすよう執行部に働きかけていきます。

### ■豊田市

水道管の漏水調査は、従来、調査員が音を聴いて回る音響調査でしたが、人工衛星から地表に電磁波を照射することにより、漏水可能区域を抽出する方法を導入しました。また、市が持つ「水道管の材質」、「使用年数」、「過去の漏水履歴」などのデータをAIが解析して、漏水可能性区域を抽出する方法も取り入れています。

### ■各務原市

各務原市の中心部には、「市民公園」と「学びの森」が隣接しており、今回視察したKAKAMIGAHARA PARK BRIDGEは、パークPFI制度を利用して、民間で建設・運営しており、マーケット日和などの定期的なイベントを実施することにより、若い世代が中心とした新しい町の賑わいの風景が定着しています。

### ■東海市

空き家対策にあたり、東海市空家等対策計画が策定され、基本方針を定め、現状調査並びに調査に基づいた分析を行い、対策を実施するとともに、民間事業者との連携や、市民への意識向上を目的としたセミナー、高齢者向けの出前講座なども実施しています。

### ■VISON（ヴィソン）

民間企業による共同出資により運営されており、日本最大級の複合商業リゾート施設で、飲食施設は、地元食材が並ぶマルシェヴィソン（産直市場）や世界一の美食の街として知られるスペインのセバスチャン市との連携によりできたサンセバスチャン通りなどがあり、「食」の循環をテーマにした複合施設です。また、年間約350万人が訪れ、様々な店舗の出店により地元の若者の雇用の場を増やしています。

## 文教厚生常任委員会

### 令和7年11月4日に所管事務施設の視察を行いました。

田並リサイクルセンターは稼働を始めて10年がたち、地元田並区との協定に基づく15年にあと5年を切った時点で、10年間の契約延長を求めて、現在交渉中です。

分別や梱包の作業現場を見学して、現況や課題の説明を受けました。

給食センターでは調理現場を視察しました。大きな鍋に入れた味噌汁の調理と各学校への分配の様を見学し、その後給食の試食を行いました。



#### 管内視察のその後

12月議会では2人の委員が学校給食を一般質問で取りあげました。また会期中に開いた常任委員会では視察を受けての意見交換が行われ、リサイクルセンターの職員の熱中症対策に関して話し合った結果、まずは空調服の支給を行うなどの改善策が出されました。学校給食に関しては2月に行う県外視察等でオーガニック給食を含めた改善の方策を模索していきます。

#### 請願等の調査

6月議会から付託されている「串本町社会福祉協議会の存続に伴う補助金に関する要望書」に関しては委員会で繰り返し協議していますが、「補助金がある場しのぎになってしまうのではないか」「運営の見直しが必要ではないか」といった論議が出され、引き続き調査・協議を進めています。

12月議会では新たに年金者組合から「年金の引き上げを求める請願書」が出され、委員会に付託となり、継続調査を行っています。

# 一 般 質 問

第3回定例会(9月)及び第4回定例会(12月)に行った一般質問の内容をお届けします。

一般質問では、町が行う取り組み内容や問題点に関し、幅広く質問することができます。

傍聴人数

9月議会 **27**人

12月議会 **34**人

記事の内容は、質問議員の責任において、議員自身が作成したものです。



ページ	見出し	質問議員
9	町民に愛されるくしもと町立病院の対応について	橋爪 和雄
10	学校給食の安全・安心の確保（無検査米使用）	水口 崇
11	串本町の人口減少の中、経済対策の施策は	角 将範
12	健康寿命の延伸のため靴を履こう	島野 靖
13	脳ドック40歳以上の方々を対象に補助しませんか	吉村 聡一郎
14	風水害に対するインフラ確保の事前対策が必要	北地 稔
15	道の駅、公園（官民連携事業）を、多くの魅力を備え、串本町の未来へ繋ぐ	太田 徹
16	保健所支所廃止に反対をすべきだ	仲江 孝丸
17	今後もドローンショーを計画しては	沼谷 美次
18	遊休農地活用の補助要件について矛盾是正を	立野 仁徳
19	カムチャツカ半島沖地震の対応に関する意見について	鈴木 幸夫

各議員のページにある二次元コード（QRコード）を読み取ることで、その時の一般質問の動画映像を御視聴いただけます。



# 町民に愛されるくしもと町立病院の対応について

**病院事業管理者** 住民の健康、福祉安全の向上に貢献する。



橋爪和雄



9月議会

## ●9月議会

町民に愛されるくしもと町立病院の対応について

**質問** 町民に愛されるくしもと町立病院の対応について。

**答弁** (病院事業管理者) 地域の中核病院として

住民の健康、福祉、安全の向上に住民の立場に立って貢献します。患者・家族の視点で対応します。安全な医療、介護を遂行します。

**質問** 基本方針について。

**答弁** (病院事業管理者)

毎月医療安全管理委員会を開催し、ヒヤリハット事例について、全ての職種で分析、改善等を検

討して、職員全員で共有するようにしています。

地域の医療、保健、福祉、介護との連携強化に努め、地域に開かれた病院を目指します。

**質問** 緊急患者に対しての対応について。

**答弁** (病院事業管理者)

年間1,000件を超える救急車搬送を受け、この町の住民を救えるのはこの病院しかないという考え方を共有し、周知徹底に努めていきます。

**質問** 患者さんの投書について。

**答弁** (病院事業管理者)

内容は事務方でチェックした後、迅速な対応に努めています。職員連携が必要なものは多職種が委員として参加する業務改善委員会に諮ります。

7月30日の津波による緊急時の避難対応の課題について。

**質問** カムチャツカ半島

沖地震の、津波による緊急時の避難対応の課題について。各避難所での避難者名簿について。

**答弁** (総務課長) 地域防災計画の中に避難名簿の様式があります。職員等から聴取したところ、数多くの避難者がありスムーズに避難者名簿ができていない課題もありました。避難者が想定を超えたため対応の遅れがあり、今後迅速に対応できる体制を考えます。

**質問** 自主防災へのアンケート調査について。

**答弁** (総務課長) カムチャツカ半島地震に対する各自自主防災組織の対応について聞き取り調査を行いました。

**質問** 消防本部の対応について。

**答弁** (消防長) 津波注意報の発令とともに、消防本部地震警備計画及び津波情報初動体制に基づく活動を実施しています。警報発令後は、警戒広報活動を実施している車両

を帰寄せさせます。同時に全職員を招集します。ドローンの準備を行いました。

**質問** 病院の対応と課題について。

**答弁** (くしもと町立病院事務長) 防災行政無線に入ってくるコミュニケーションバス、電車などの状況は随時院内放送をかけます。外来患者等々、院内で待機を呼びかけます。傷病者が多数出た時は、一階のロビーがトリアーエリアになりますので、避難者を避難所へ誘導することが今後の課題です。

月一回災害対策委員会を行っており、今回の事例を踏まえて、内容を振り返り、マニュアルのほうの整備にも生かしているところ です。

(その他)

・廃校や使わなくなった公共施設の取り壊しについて

# 学校給食の安全・安心の確保 (無検査米使用)

**教育次長** 残留農薬検査を生産者と相談する。



水口 崇



9月議会



12月議会

●9月議会  
●12月議会

JR存続への本気  
(関係市町のJR持ち  
株対応)

**質問** 民営化したJRに  
もの言えるように県及び  
関係市町村でJR株の取  
得をすべき。

100株で一議決権が  
得られ3万株以上議決権  
があれば、株主提案がで  
きる。

**答弁**(企画課長) 元本割  
れするリスクのある株を  
買うというのは、考えて  
いない。

高速道路早期供用へ  
の予算獲得の為紀伊  
半島一周高速道路促  
進決起大会の必要性

**質問** 高速道路の早期供  
用の為の促進決起大会の  
必要性がある。

道路族の有力代議士が  
居なくなり、暫定税率も  
廃止で財源もない。

すさみ串本道路も大き  
く遅れた。太地串本道路  
には今後予算がつくのか。  
2009年の決起大会は  
大きな成果があった。

**答弁**(建設課長) 国への  
要望が一層大切になる。  
協議会と連携を取りなが  
ら活動を続けていく。11  
月27日に国交省及び地元  
選出国会議員・国土強靱  
化研究室(二階俊博会長)  
を訪問し要望活動を行っ  
てきた。

学校給食での安全・  
安心(残留農薬検査  
実施と結果公表)

**質問** 宮古島で発達障  
がい児が、8年間で44倍。  
水道水からも殺虫剤(ネ  
オニコチノイド)が検出  
されている。

世界中で問題視され、  
EUでは使用禁止。使用  
数値を下げた国もある。

日本は高濃度で許可を出  
している。国会でも取り  
上げられ、各県市町村も  
意見書を提出している。  
和歌山県は、使用頻度が  
特に高い。委員会です本  
町は、発達障がい児率が  
高いと報告を受けた。一  
部の学者からネオニコチ  
ノイドとの発達障がいの  
関連を指摘されている。  
ネオニコチノイドは、  
稲作にも使われている。  
予防原則にのっとり給

食の無検査米を毎年全戸  
検査して、残留農薬が基  
準値以下でも子供達の安  
心・安全の為に使用すべ  
きではない。

全国の検査米の1/3で基  
準値以下ではあるが、検  
出されている。

理想は有機栽培だが、  
子供達の為、国の基準値  
より予防原則にのっとり  
安全・安心確保。

多くの病院食では、無  
検査米は禁止している。  
**答弁**(教育次長) 201  
6年に検査はしたがそれ  
以降していない。検査に  
は9万円くらいかかる。  
21名の生産者にお話をし  
ていきたい。



# 串本町の人口減少の中、 経済対策の施策は

**町長** 私が力を入れてきたのは防災対策



角 将 範



9月議会



12月議会

## ●9月議会

**質問** 田並リサイクルセンター協定書のその後の検討について。

**答弁** (住民課長) 4月中旬に延長の申し出を提出しています。角議員の6月の一般質問を受けて、防災関係のモデル地域構想や、田並区の要望と回答について、達成・未達成の現状を報告し、それをもって今、検討していただいている状況です。

**質問** 小中学校の統合問題について。

田嶋町長は約20年前に、学校統合問題は、新町になって、人員の配置を整えて、取り組みますと答弁していますが、約20年経った現在において、町全体の小中学校の統合計画が出来ていないが、教育委員会は今後10年かけてやると答弁したが。

**答弁** (町長) やっぱり統合問題は、教育委員会が主体となって、地元、生徒、保護者と話し合いをしながら、まとめて行くものと思います。



## ●12月議会

### 串本町の経済対策について

**質問** 田嶋町長は長年に渡って、町民の暮らしに密着する経済対策がなされていないと思う、このままでは、町民が働く場所がなくなり、人口がますます減少してしまうと予測しますが、町長はどんな経済対策をやって来たのか、又これからの対策は。

**答弁** (町長) 私が町長になってから、力を入れて来たのは、防災対策ではなかろうかと思えます。庁舎を高台に上げて、地域の経済に大きく寄与しているのでは。

### 役場職員の人件費について

**質問** 古座町との合併当時と比べて、町民の人口が約1万人近く減っている中で、町職員の人件費がほとんど変わっていないのはなぜか？

**答弁** (総務課長) 普通会計の職員数では、平成17年度に276名だったのが、令和7年度、220名と56名の減少となっています。

町民の人口は減っていますが、合併後新しい仕事が増え、職員の削減が進まないのも一つの要因かと。例えば、後期高齢者医療保険、包括支援センターの業務、給食センター業務、マイナンバーカード業務など。

# 健康寿命の延伸のため 靴を履こう

**福祉課長** 健康寿命の延伸においても重要



島野 靖



9月議会

● 9月議会

**質問** 串本町は健康寿命が低い。町として改善していくための取組について。

**答弁** (福祉課長) 各地区で高齢者サロンや集まりの場で、フレイル予防の講話と合わせた体力測定や運動指導などを保健師や理学療法士、管理栄養士等と連携して実施しています。

**質問** 高齢者の転倒予防で重要になってくるのは履物だと考えます。なるべく靴を履いてもらいた

い。

**答弁** (福祉課長) 運動時だけでなく、日常におきましても簡易な履物で出かけることは転倒や骨折の危険性の増大につながるため、靴などの使用は重要なことです。介護、介助が必要になる原因として転倒骨折が上位となつていきます。

**質問** 職員が率先してスニーカーなど歩きやすい靴で勤務するスニーカービズ、ウォークビズを導入する考えはないか。

**答弁** (副町長) スニーカーを履く運動をされている自治体もあります。職員が率先して履くということは全然問題ないかと思えます。一度考えさせていただきます。

**質問** ふるさと納税を増

やすための取組について伺います。

**答弁** (企画課長) 6年度は9億4千万円ほどで寄付を頂いております。ふるさと納税の性格上、検索していただく回数が増える、あるいはレビューという点数です。5点満点のうち何点かが非常に影響してきます。回数を増やす取り組みをしていきたい。

**質問** 返礼品もふるさと納税の中で大事と考えます。

**答弁** (企画課長) 返礼品に当たっては安定的な供給量が求められます。例えばなんたん蜜姫は商標登録されていますが、サイパン芋、トルコギキョウ、ぼんかんもそうですが、ブランド化していくことで売上げ、返礼品に

扱っていただければと期待を持っています。

**質問** ふるさと納税を増やすには、返礼品の充実も大事であるが、串本町を多くの人に知ってもらうことも大切であると思

**答弁** (企画課長) 都市部での串本町の知名度が低すぎるというのが実感です。ロケットの打ち上げすら知らない二十歳代が多いんですね。ちょっとでも串本町、和歌山県、ロケットという地道なPR活動がふるさと納税につながるかと考えています。

**質問** 町はスケートボードを禁止しているのか。

**答弁** (総務課長) 町がスケートボードを特定して禁止する条例、規制というのはありません。

# 脳ドック40歳以上の方々を 対象に補助しませんか

**町長** 拡充していく方向で考えていきたいと思っています



吉村聡一郎



9月議会



12月議会

## ●9月議会

・小・中学校統合について  
（町立小・中学校の統合再編・田原小学校統合等）  
・自治体DXについて  
（自治体DXの現状やデジタル田園都市国家構想交付金の活用等）

## ●12月議会

**質問** 脳ドック事業の目的、意義は。  
**答弁（住民課長）** 事業を実施した背景は、町民の皆様のご意見や医療現場から脳血管疾患の早期発

見の重要性について助言いただいたところにあります。

健康管理の一環として、特定健診やがん検診などに加えて、脳血管疾患に關しても早期発見・早期対策をしていただく機会の確保を目的としています。

### 答弁（病院事業管理者）

MRIの画像検査では、脳血管以外に、脳腫瘍や耳鼻科疾患が見つかることもあり、そういったことの早期発見にもつながるといふことで、患者さんにとって価値のある検査ではないかと思えます。

また、病院では手術をするなどで収益につながり、町にとつては早期治療により高額療養費の抑制になるということもあります。

### 質問

受診者が増えれば病院収益が上がる、早期発見で将来の医療費が抑制される、そして健康寿命が延びる、いいことづくめのこの事業を働き盛りの40歳から64歳までの町民4000人を対象に補助をしませんか。

### 答弁（病院事業管理者）

このデータを使えば専門外でも対応しやすくなり、迅速に発見、治療が始められ、住民にとつて非常に収益性の高い検査・システムになっていくと思えます。

また、病院経営の視点でも、症例が増えれば分母が大きくなり、1例当たりの固定費が安くなるので、よりコストの安い検査として進められることから、執行部と相談になります。拡充していく方向でいければあります。

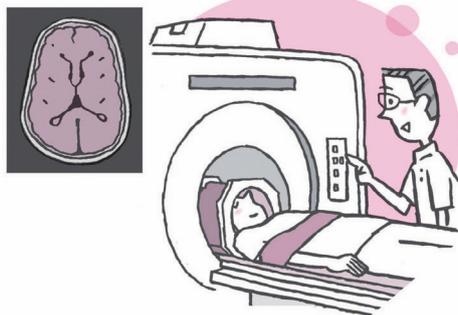
たいと思っています。

### 答弁（町長）

病院の受け入れ態勢など諸問題もあり、考えていかなければならないこともありますが、基本的にはこれを拡充していく方向で我々も考えていきたいと思っています。

### （その他）

・国家賠償請求訴訟について  
・入湯税について（入湯税収を増やす施策等）



# 風水害に対するインフラ確保の 事前対策が必要

**建設課長** 道路沿いの事前伐採などが有効



北地 稔



9月議会

● 9月議会

**質問** 風水害に対するインフラ確保について、特に電源供給が非常に大事

であるが、今年の3月から8月までの半年間で数時間に及ぶ長時間の停電が5回あった。その主な原因と今後の対策について。

**答弁**（総務課長） 現在14

回と昨年と比べてかなり多く思う。原因は樹木の接触そして断線や落雷等が原因であると説明を受けています。

関西電力に対して適切な管理を伝えていきます。

引き続き復旧にかかる停電時間の短縮や維持管理など含めて機会を捉えて要望します。又、関西電力では自分が住んでいる地域を口で言えば停電情報を教えてくれるサービスがあります。電話番号は先日の広報くしもに掲載させて頂きました。ご利用して頂ければと思います。

電話番号（関西電力停電情報）  
08001237800

**質問** 台風や大雨などの自然災害の際に、倒木や落石があり通行不能となるケースがよくあるが事前対策をして、リスク回避をしておく必要があると思う。

**答弁**（建設課長） 町道の管理者として道路沿いの事前伐採が有効であると考えます。町内全域対象に、できる限り道路パト

ロールを行い、確認作業を実施していきます。

**質問** 総合運動公園サン

・ナンタンランドのトラックでは、芝生と土部分の境目が、かなりの段差があり、スポーツをしていく将来のある子供達や、合宿などで当町を訪れていくスポーツ選手が怪我をするリスクが高く一番懸念される。この状況を把握していますか。対策にどのような考えを持っていますか。

**答弁**（教育次長） 芝生と土の境目、基礎部分が表面に出てきて段差があると認識しています。当初から土は補充していませんし特に改修もしていません。この件については利用団体からも要望を頂いています。大きな予算が必要となるので計画的に取り組んでいきたい。



**答弁**（副町長） サン・ナンタンランドの芝生には毎年予算をかけて整備していますが、外のトラック部分の土は改修していません。指摘のあった段差が大きくなっていることは事実です。

スポーツ振興及び施設整備等に関する事業の、ふるさと納税を分配するということも出来そうです。町長と相談しながらトラックに回せるのであれば、その中で協議したいと思っています。

# 道の駅、公園（官民連携事業）を、 多くの魅力を備え、串本町の未来へ繋ぐ

**建設課長** 高品質なサービスの保持とリスク管理を適切に実施する



太田 徹



9月議会



12月議会

## ●9月議会

**質問** 早期退職者に対する対策及び分析を含む消防署の勤務体制について。

**答弁**（消防長） 各消防署の人員の均衡を保ち消防力の低下を防ぐ対策を講じており、救急出動に必要な救急救命士の養成と増員に引き続き務めていく。

**質問** トルコとの交流は、永年、地元檜野区民や檜野小学校児童が献身的に清掃活動などを行ってきた。135周年の節目の年に知事とのトルコ訪問を行い、和歌山県が青少年の防災、文化交流において防災等に関する意識

の向上を目的とした覚書を結んだ。今後の交流について、どう考えるか。

**答弁**（町長） 串本町も県と共に子供たちの防災力の向上を含め、「慈愛の心」を継承してトルコとの交流を一層深めていきたい。

（その他）

- ・ 消防施設の現状について
- ・ 災害時の避難所の環境について（高齢者福祉避難）
- ・ 防災コーディネーターについて

## ●12月議会

**質問** 水道施設の老朽化



などを把握したうえで、ストックマネジメント管理の現状と水道管のA-Iによる老朽化分析及び衛星を活用した漏水探査等の実施による経営基盤の安定強化を図る施策について。

**答弁**（水道課長） ストックマネジメントは、施設保全費用の余裕がなく、実施できていない。管路の老朽化分析は、漏水対策、ランニングコストの動向を見据えて検討する。衛星を活用した漏水探査業務は、複数の市町村による広域調査として、県の補助金を活用して8年度に行う準備をしている。

**質問** 官民連携事業（PFI事業）における道の駅と公園は、人々が「何度も訪れたい」と思う、多くの魅力を発信するものを備えて、串本町に相応しい串本スタイルを築

き、串本町の未来へ繋ぎたい。これを求めるため、事業管理は、維持運営及びより高い性能の保持が必要と考える。このことについて、どのように考えるか。

**回答**（建設課長） 民間事業者が維持管理及び運営を任せるが施設の状況や経営状況など、町を含む第三者委員会で定期的にモニタリングを行いサービスの品質向上に努め、不具合を未然に防ぐための対処を行う。

（その他）

- ・ ハイブリッド型教科書について
- ・ 学校に行けない子供たちへの対応と出席扱い制度について
- ・ 基準変更に伴う津波避難タワーの運用について
- ・ 防災道の駅の認定について

# 保健所支所廃止に 反対をすべきだ

**町長** そらそうですねというわけには我々もいかない



仲江孝丸



9月議会



12月議会

● 9月議会  
● 12月議会

**質問** 和歌山県域のツキノワグマは、一時約180頭とされ、保護を重視してきたが、推定生息数が467頭になった。目撃情報が増加し、人里への接近が顕著になっている。

**答弁** (産業課長) 県の保護管理指針に基づいて、生息地・防除地域・排除地域を区分けして対応を進めている。

**質問** カムチャツカ半島地震に関し、警報時の町の対応は。

**答弁** (総務課長) 防災無線で警報を放送した。B&Gの駐車場や統合小学校予定地の敷地に車が多く避難した。職員を26箇所の避難所に派遣した。

**質問** 避難所が快適であればためらわずにそこに逃げる。見直しの必要がある。

**答弁** (総務課長) 想定される地震の避難予測者数をまかなえる避難所面積は確保できていない。環境改善は大事だと考える。

**質問** 全県同一の保険料(後期高齢者)を徴収されるということは全県同一の給付が保障されなければならぬ。

**答弁** (町長) 議員の指摘

有田病院が12月で規模を縮小する、また、開業

医が高齢化で後継者のいない状態が広がっている。格差の広がりに危機感を持っていないのか。

の通り。有田病院の閉院など大変な状況にある。広域連合の議会で指摘して頂いたら有難い。町としても声をあげていくことが大事。

**質問** 保健所の統合に関する町の受け止めは。

**答弁** (町長) 県の話を受け、そらそうですねというわけには我々もいかない。県は議員や区長に説明に回っている。これから協議に入っていく。



**質問** 人減らしが目的である場合、人材の集約は

機能強化に結び付かない。  
**答弁** (町長) まだ時間がある。最初4月から言っていたが、「とんでもない」と言って繰り延べさせた。なぜ保健所が必要なのかを論理的に県に申し立てていくことも大事。

**質問** 串本観光の将来ビジョン・具体的計画は誰が考えて進めていくのか。  
**答弁** (産業課長) 観光協会の事務局や商工会が中心となって取り組んでいく。

**質問** 本来は理事会で協議して総会にかけて進めていくものである。職員に計画を立てさせると、新たな事業や困難な事業は避けようとする。

**答弁** (産業課長) 観光協会との情報共有・協議の場に定期的に参加させてもらって、役割を明確にして取り組んでいきたい。

# 今後もドローンショーを 計画しては

**町長** 記念行事か大きな行事に絡め考えたい



沼谷美次



12月議会

●12月議会

ドローンショーについて

**質問** ドローンショー開催に至った経緯と今後の実施について。

**答弁** (産業課長) 今回のドローンショーについては、株式会社アドホック様から、串本町でドローンショーが出来ないかと。

株式会社アドホックは、串本町と災害時におけるドローン運用に関する協



定を締結した事業所であります。費用につきましては、一機2万円、三百機600万円は、事業者の厚意で、町の負担は、運営委託費、会場設備費、チラシ印刷折込料51万円の支出となっております。

**答弁** (町長) ドローンショーにつきましては、ものすごく近いところで見えたと言うことで町民の方々の評判も良く、出来

ましたら何かの記念行事とか、又、価格交渉も含め、ふるさと納税や町民の皆様から協賛金を充てる形で考えたい。

**空き家の把握と乗用ホースレイヤーの購入と高台への防火水槽の設置を**

**質問** 空き家が存在する事で、消火活動に支障があると思うし、又消防車が入れない道路があり、一刻も早く消火活動をするためにも乗用ホースレイヤーを購入し、住民の生命、財産を守り、現場で働く署員の負担も少し軽くなると思うので、是非とも購入して頂きたい。高台への防火水槽は絶対必要と思われるので



設置について検討されたい。

**答弁** (消防長) 建設課はじめ関係する機関と協力連携し必要に応じてやっていきたい。

防火水槽については2年に一度見直し、積極的に防火水槽を設置していきたい。

**答弁** (町長) 乗用ホースレイヤー購入につきましては、消防の方から上がってきたときには、十分に慎重に検討していきたい。

(その他)

・空き家対策について

# 遊休農地活用の補助要件について矛盾是正を

**町長** 確実に矛盾している、内部で十分検討したい



立野仁徳



9月議会



12月議会

## ●9月議会

### 地域農業の継業支援策(遊休農地活用)について

**質問** 地権者の責任感で草刈りに入っている耕作放棄地には他者再活用時の補助が下りない。補助要件に矛盾がないか。

**答弁(町長)** これはもう確実に矛盾しているというふうに思うので、内部で十分検討したい。

### 高速道路 和深ICについて

**質問** 和深ICがハーフでなければならぬ理由は、完成後にフルIC化の可能性は。

## ●12月議会

**答弁(建設課長)** すきみ南ICと和深ICの二箇所での1つのフルIC機能という国の計画。和深区の要望を受け町もフルIC化の方向性について紀南河川国道事務所と協議したが、まずは事業推進、延伸の完成に力を入れるべきという結論。今後のフルIC化については周辺状況の変化で費用対効果を検討し、必要性を確認した上で再検討される。

### 町内住宅環境に置かれた状況に対する本町の考え方について

**質問** 町内各地区においての世帯人口減少から、地域インフラや防犯などの不安に対して、今後及び町はサポートしてゆく準備があるか。

**答弁(町長)** 決して人口が減った場所を切り捨てて行くような考え方は持っていない、これからも住民の皆さん方のニーズに答えられる努力をして

いきたい。

(その他)

- ・地域農業の継業支援策について(6月以降の進捗確認)
- ・中学校部活動地域移行、今後について
- ・学校教育について、町が力を入れていることとは
- ・串本中学校の災害時避難経路について

## ●12月議会

### 町民の危機管理について

**質問** 詐欺・誘拐等犯罪手口の変化を想定し、子供たちには定期の啓発活動・対処講習を。

**答弁(教育長)** 校長会、各学校にも訴えて行く。

### 高速道路串本IC周辺F1事業について

**質問** 火葬場の民間委託で利用料が跳ね上がる、

町条例の金額改定ということはないか。

**答弁(住民課長)** 町条例に定める金額からの変更は予定していない。

### 町内各区の運営について

**質問** そもそも各区役員のなり手が不足する中、人口が減少する区は区費も減り、運営が難しくなってきた。町からの補助について、世帯数が減っている区への然るべき補助要件改定を来年度当初予算から町長にご検討いただきたい。

**答弁(総務課長)** (既存枠外での)補助増額については今後、調査研究させていきたい。

(その他)

- ・学校給食オーガニック化について本町での検討
- ・PFI事業 公園建設
- ・農業政策について(9月以降の進捗確認)

# カムチャツカ半島沖地震の 対応に関する意見について

総務課長 意見を受け自主防との連携体制構築を進める



鈴木幸夫



9月議会

## 9月議会

### 防災・減災対策について

**質問** 先の地震（カムチャツカ半島沖地震）・津波警報時の初動対応は地域防災計画に沿った行動だったと受け止めている。住民や自主防災組織から役場に意見が届いているか、内容と処理状況。

**答弁**（総務課長）初動対応は計画に基づいたものだったが、問い合わせ対応に人員が取られる課題があった。各自主防災組織に電話調査を行い、備

蓄品充実や避難訓練参加促進の意見があり、今後は連携体制の構築を進める。

**質問** 情報提供の不足や要配慮者の避難計画はどう進めているか。

**答弁**（総務課長）避難所情報の提供方法や個別避難計画を検討中だが、津波到達時間の短さなど課題がある。

**質問** 避難路・避難タワーの老朽化や維持管理について。

**答弁**（総務課長）避難タワーは職員が目視点検している。避難路は自主防災組織に維持管理をお願いし、町としても支援する。

### 人口減少・少子高齢化対策

**質問** 串本町の人口減少・少子高齢化の現状につ

いて認識は。

**答弁**（企画課長）県内全市町村で人口減少が進み、本町でも高齢化や出生率低下が進行していると認識している。

**質問** これまでの施策の成果や課題は。

**答弁**（企画課長）結婚祝い金制度や出会い事業を実施したが、成果の評価は難しい。子育て支援等も含め、引き続き検討する。

**質問** 若者支援施策として公営住宅の活用について。

**答弁**（総務課長）空き公営住宅があり、「みなし特定公共賃貸住宅制度」の活用も含め検討したい。

### 宇宙関連・ロケットを活かしたまちづくり

**質問** ロケット打ち上げの経済効果や来訪者、戦

略は。

**答弁**（企画課長）県の「宇宙アクシオンプラン」で1回の打上げの経済波及効果を約12億円と試算し、観光・イベントとしても寄与すると考えている。

**質問** 宇宙教育やSorai Miru充実について。

**答弁**（教育次長）小中学校で総合学習を進めている。（Sorai Miruの見学、招待でアメリカの宇宙ロケットセンタースペースキャンプに参加）

**質問** 「宇宙アクシオンプラン」県方針と町の位置づけは。

**答弁**（町長）「宇宙アクシオンプラン」は紀南市町村の特色を活かすための行動指針、町としては廃校となった古座高校を工業高校等として活用を要望していきたい。

## 官民連携（PPP/PFI）に関する勉強会

令和7年9月12日（金）

串本IC周辺PFI事業方式の採用にあたり、勉強会に参加しました。内容について、その後の調査事項も含め簡潔にまとめましたので町民の皆様にもご一読いただければ幸いです。

本事業は、串本IC周辺の公共施設整備・運営において、民間資金とノウハウを活用するPFI（Private Finance Initiative）方式を採用するものです。20年という長期にわたる事業契約という条件下、自治体の財政・運営責任が問われる極めて重要な局面です。

一方で、高速道路の開通に合わせたタイトなスケジュールから、議会は事実上「賛成」を前提とした議論になりがちですが、長期的な法的紛争リスクやサービス水準の維持管理を鑑みれば安易な判断は許されず、自治体の将来に禍根を残さないようリスク分担と評価基準の明確化を徹底して精査する必要があります。



### 1. PFI方式の一般的メリットと懸念

自治体側の大きな利点は、「民間資金による初期投資の抑制」と「サービスの質の向上」です。一括の予算計上ではなく長期間の分割支払いとなるため財政負担が平準化され、民間のアイデアにより低コストかつ利便性の高い施設運営が期待できます。

一方で、契約期間が長期化するため、事業者が適正に仕事をしているかを監視（モニタリング）し続ける必要があり、自治体側の事務負担や管理コストが増大するという懸念があります。

### 2. 本事業における検討課題

特に議会や行政が注視すべき、本事業特有の重要論点は以下の通りです。

#### 地域経済への寄与

地元業者の育成や雇用創出に繋がるか。特に募集要項にある「過去10年間に本業務と同等規模の施設の運営業務の実績を有するマネージャー」が地域に存在するか等、実効性が問われます。

#### 財政の硬直化と不確実性

20年間の支払いが固定されることで、将来の物価高騰や金利変動により、他の施策への予算配分が制限される潜在的リスクがあります。

#### 事業継続リスク

事業者が破綻した場合の債務肩代わりや、施設未完成の放置といった最悪のシナリオへの備え（リスク分担）が不可欠です。

#### ニーズの変化への対応

20年の間に社会情勢が変わった際、契約内容を柔軟に変更できるか、施設やサービスの陳腐化を防げるかが鍵となります。

### 3. 今後のスケジュールと判断

令和8年2月の応募提案提出から始まり、3月末のプレゼン審査を経て事業者選定と基本協定の締結、6月議会にて審議し、令和8年6月中には事業契約を締結する予定です。

## 南紀熊野ジオパーク東牟婁議員連盟協議会 研修会

### 『ユネスコ世界ジオパークと南紀熊野ジオパーク』

令和7年10月23日（木）

講師：和歌山県立南紀熊野ジオパークセンター主査研究員 福村 成哉 氏

研修会では、ジオパークの意義や価値について学びました。物事を深く知り視点を变えることで「見ているものは同じだけど、見えているものが違う」という感覚に、大変共感致しました。



## 東牟婁郡町村全議員研修会 『議員コンプライアンス研修』

令和7年10月29日（水）

講師：弁護士 帖佐 直美 氏

講義では、議員に求められるコンプライアンス（社会規範・法令遵守）やハラスメントについて、具体的なケースや実事例を用いてご説明いただきました。特に、名誉毀損や著作権法違反などについても、ありがちで注意が疎かになりそうな部分の事例も詳しく解説いただき、大変有益な研修会でした。



## 新宮保健所串本支所の新宮保健所統合に向けた検討について

令和7年11月18日（火）

東牟婁振興局健康福祉部より、管内議員へ向けた説明会を実施。令和8年4月を目標に統合を検討したいという前提で事業状況、現状の問題と対応についての説明を受け質疑応答が行われました。本町からは、鈴木議員、吉村議員より、それぞれ地域の安心、利便性悪化の観点から反対の立場での質問がありました。

# 議会報告会（第2回）

議会基本条例に基づく議会報告会を令和7年11月9日に串本町図書館2階多目的ホールで開催しました。昨年は初めての開催で、各地区の代表として区長連合会を対象に行いましたが、今回は、町民全般を対象に広報掲載等でお知らせを行い開催しました。当日は、雨天の影響もあり、参加人数が11人となりました。

## 報告内容

- 1 串本町議会基本条例について**  
条例の制定過程及び活用と今後
- 2 令和7年第1回から第3回定例会について**  
補正予算及び議員の活動状況
- 3 文教厚生常任委員会の活動状況について**  
構成委員、所管事項、所管事務の調査、請願の審査状況、管内視察
- 4 総務産業建設常任委員会の活動状況について**  
構成委員、行動指針、所管事項、閉会中の継続調査申出事項、県外視察

以上の議会等の報告を行い、報告後、参加者との意見交換を行いました。

「高齢者が生活しにくい。」「現行の議員定数に対して、議員定数削減は反対である。」「町を良くするために、頑張ってくれている」などのご意見がありました。

いただいたご意見は、真摯に受けとめ、今後の議会運営に反映させ、議会の活性化に務めてまいります。

## 決算審査特別委員会

令和7年第3回定例会（令和7年9月3日）において、決算審査特別委員会が設置され、令和7年10月6日から15日までの間、令和6年度一般会計歳入歳出決算、特別会計、企業会計歳入歳出決算等、計15件の審査を行いました。

審査は、効果を含め適正に行われ、委員会で認定後、第4回定例会において委員長報告が実施され、可決されました。

## 町長への総括質疑

- 1 人口減少緩和策における新たな子育て支援施策について**
  - (1) 令和6年度結婚新生活支援事業補助金（令和7年1月1日開始）
  - (2) 令和8年度予定、保護者の就労にかかわらず子育て家庭の孤立感を防ぎ交流機会を促進させることを目的とした子供の預かり制度の開始
- 2 病院事業の経営の改善における今後の将来像について**
  - (1) 患者とその家族に信頼される病院を目指す
  - (2) 整形外科などの増設を行い、手術、入院、リハビリを対象とした患者を増やしていきたい。
  - (3) ICTネットワークの導入及び構築により、診療所、薬局、消防署、介護事業所などと患者に対する連携を深め病院の評判を上げたい。
- 3 障害者の「害」の表記について**  
行政文書の管理上、問題がなければ串本町は、ひらがな表記を行っている。
- 4 財産区の今後の在り方について**  
財産区には、それぞれの考えがあり、財産区に応じた運営が望ましい。
- 5 消防職員の充足率75%に向けた人員増強について**  
現在の充足率は、県内の平均値より、少し上の67%を維持しており、職員の個々の能力を向上させ、充足率以上の消防力の効果を発揮する。

くしもとイルミ実行委員会

# イルミネーション等のイベント活動

くしもとイルミネーションを行っている「くしもとイルミ実行委員会」代表の人見翔さんに、ボランティアで行っていただいている様々な取り組みについて、インタビューを行いました。



**Q** くしもとイルミネーションについて

**A** くしもとイルミネーション（毎年12月～1月）は、串本の町でも、クリスマスや冬の雰囲気を楽しめる場所として、非日常を味わってもらえればと思い実施しました。

**Q** 串本町に対する活動の動機について

**A** 大きなきっかけとなったのは、「サプライズ花火（令和4年）」です。コロナ感染症対策時における行動制限などもありましたが、町民の皆様にも元気と笑顔を取り戻していただければと思い実施しました。多くのうれしい言葉を頂き、実施できてよかったと考えています。

**Q** そのほかの活動について

**A** 6月に「橋杭海水浴場整備作業」を行っています。10月には「ハローウィン活動」。また、「交通安全啓発街頭活動」は、月2回串本中学入口交差点で行っています。街頭活動時に使用しているキャラクターに関心を持ってもらい、不登校対策にも活用出来ればと考えています。

**Q** 活動を通じて串本町に対する想いは

**A** 串本町には、潜在力を秘めた多くの観光資源があります。ロケットの打上げや道の駅の整備など、飛躍できる可能性がありますので、それらを最大限活用する努力が必要と考えています。串本町の活性化と未来を考え、新たな社会貢献にも取り組んでいきたいと思っています。

《各委員会のメンバー紹介》

★委員長 ☆副委員長 ※議長は一部事務組合以外の全ての委員会に出席

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
氏名		橋爪 和雄	水口 崇	角 将範	島野 靖	吉村 聡一郎	北地 稔	太田 徹	仲江 孝丸	沼谷 美次	芝山 定史	立野 仁徳	鈴木 幸夫
常任	総務産建		○			★		☆		○	○		○
	文教厚生	○		○	○		☆		★		※	○	
	議会運営	★			○	○	○	○	○	☆	※		
特別	広報広聴	☆		○		★		○		○	※	○	
	決算審査	○			☆	★		○		○	※	○	
一部事務組合	後期広域								○				
	紀南環境						○		○				
	衛生組合	○		○	○	○				○			○

串本柔道クラブの活動を紹介します。

## 思ったように身体を使える、自己実現のステップ



幼児から小中高一般まで、全世代を対象に生涯学習としての柔道に励みます。小学生はとにかく楽しく、思ったように動ける身体の基本を作りながら、生涯にわたりケガの予防となる受身を身に付けます。中学生からは専門的に柔道を学び、目標に向けて自己実現に挑みます。

一般は選手年代から高齢の方まで、日々の運動から目標達成へ向けて、それぞれ自分に合ったテンポで生涯学習としての柔道に取り組んでいます。



## 中学校部活動の地域移行、生徒の学びの機会を

**Q** 部活動の地域移行について

**A** 全国的に令和8年度から本格移行という局面を迎え、各自自治体における行政や地域としての対応が今後の生徒たちの学びの機会（格差）を決めることとなります。

**Q** 地域移行は学びの危機？

**A** 必ずしも危機だとは言えません。行政と地域団体が一丸となり、時代に合った理想的な教育環境を作り上げるチャンスでもあります。

**Q** 保護者はどうすれば？

**A** これからは行政に丸投げでなく、子供たちのために自分でできることを保護者が主体となり考える必要があります。特に、専門的に教えることができる経験をお持ちの方は率先して地域クラブの立ち上げに関わっていただくことで、子供たちにより多くの学びの機会を提供できる環境に繋がります。



議会だよりの編集に当たっては、お読みいただく住民の皆様にとつてより良いものができるよう委員一同、時には喧々諤々の議論もありながら日進月歩で編纂を重ねております。

内容に關しまして、読者の立場からご意見がございましたら、お近くの議員まで是非お寄せください。

